

11月13日(土)に、本校卒業生・修了生を対象に理療公開講座が開かれ、1名の卒業生が参加しました。

今年2度目となる講座は、10月26日より山形県の新型コロナ警戒レベル2への引き下げもあり無事に開催することができました。

参加された方は、6月に行われた第1回理療公開講座にも参加され、前回は熱心に受講されていました。今年2度目ということもあり、講座開始前に在学時の思い出話などが聞かれる楽し気な雰囲気で開催されました。

今回の内容は、前回に続き「頸肩腕症候群2」として頻度の高い症例に対しての多様なアプローチを身に付けてもらう講座でした。

教科書から一歩進んだ内容は、在学時にはなかなかイメージが湧きにくいものですが、臨床経験を踏まえた治療家としての視点が出来ると理解がしやすいもので、治療家同士の踏み込んだ会話が見て取れました。

人体模型の触察からスタートしました。



畳での講義は、患者様のご自宅に伺った際の施術でも活用できる知識になります。



ストレッチを実践しながら、体の動き、
効果を自身で体感しました。



参加者からの「今回教わったストレッチ法は、誰にでも勧める事ができるので現場で役立てていきたい。」との感想後、校長先生の閉会の言葉で、講座は締めくくられました。



理療公開講座は、今年度予定していた2回を無事に終えることができました。
参加して下さった卒業生のみなさんありがとうございました。学んだ手技を大いに実践
で活用し、スキルアップしてください。